



# 全国労働組合 交流センター-結成

## 自力・自闘・自前・連帯で たたかおう!

二・二六労働者集会  
「全国労働組合交流センター」結成大会は、当日、国労会館に五三〇名の大結集を勝ちとり闘いの一大潮流形成へ向け大きな一歩を踏み出した。  
集会は、冒頭佐藤芳夫

労働者の未来を拓く本物の組織に!

☆全金本山・八重樫委員長

総評解散という歴史的な年に立っているが、我々は職場で労働者の先頭に立ち、具体的に解決していく力を持つことが第一であると考えます。



交流センターに  
加盟しよう!

八九年秋は労働運動の結節点である。「連合」の全統一の完成と日共を中心とした階級的ナショナルセンター設立統一労組懇は体制内の労働運動を指向している。

一方、全労協の結成は、日本労働運動の崩壊を招いた(春闘―内需拡大思想)総評労働運動の継承を叫ぶものでしかない。  
また、この労働問題で国労も、JR当局、総評・社会党―鉄産労の一部から攻撃され、ゆさぶられている。「連合」に入れば、JR当局は労働委

☆国労共闘・吉野氏

二月二五―二六日新橋において、東京の清算事業団・東京地本を中心としてハリストに立ち上がり、二月十六日には十四地本一三〇〇名が一時間ストライキに突入し、「労働委員会命令」の遵守を訴え、「大喪」攻撃を全く意に介さず、全員を元職場へ奪還するため闘いに抜いた。

☆自治労A市職

自治労をめぐると状況は重大局面を迎えている。八〇年初頭から開始された「ヤミ・カラ」キャンペーンは、国鉄「分割・民営化」攻撃と期を一にして各地方自治体に対し、国家をあげた労働組合破壊策動としてかけられてきた。  
現在自治労中央は、行革・地域生活権闘争に埋没し、現業労働者の闘いを圧殺する側に回っている。  
我々は自治労運動を支持する。

☆日教組B教組

「天皇Xデー・大喪」情勢の中で、自前自闘の闘いの一環として労働者通信を発刊し、教育労働者として、職場において「日の丸・君が代」を粉砕してきた。  
天皇制イデオロギーとの対決なくして、真の労働運動は構築できないと確信する。

☆全造船労働者

日共・統一労組懇の分裂策動を打ち破り、反「連合」の旗を掲げ、産報化を許さず闘い抜く。  
☆全通労働者  
青森県六ヶ所村の、核燃料再処理工場建設反対闘争の中で、地域住民と連帯する労働運動を構築している。

☆沖繩の労働者

世界的戦争危機の中で米軍基地拡張攻撃と日々激突し、新型ミサイル配備を阻止している。  
労働統一が戦争国家体制づくりであることを見すえ対決し抜く。  
我々は、仲間を裏切らない労働運動を、明るく楽しく展開しよう。

員会のいくつかの不当労働行為の諸命令に従って  
もいって言うのである。  
「連合」とは、資本の攻撃に対して屈服したのではなく、資本と一体となって右翼の勢力となっていることを見てもおかなくてはならない。  
私たちは春闘を越える春闘を創造し、春闘なき春闘を担う勢力とならなければならない。  
また、反原発、「障害者」・三里塚・外国人労働者との連帯、全国の未組織労働者との結合を闘いの中から切り拓き統一の道を進もうではないか。  
今日を端緒として、本日結集した全てのみならずが帝国主義に反対する階級的闘争的労働運動の基盤の不充分性を克服し、労働運動の実務を實踐して交流センターへ大結集―加盟することを訴えるものである。

国鉄「分割・民営化」体制粉砕! 鉄道労連解体をかちとろう!